



学校だより

古南小の絆

令和6年1月31日
高松市立古高松南小学校



氷やつららを手に元気に登校する子どもたち

1月はどちらかという冬にしては暖かかったですが、それでも寒い日には元気な子どもたちが、手に手に水たまりの氷や、どこで見つけたのかつららを持って登校します。きっと手が冷たくてかじかんでいるだろうに、その顔はどの顔も「僕のが一番分厚いよ。」「私のが一番透き通っているよ。」と言わんばかりの誇らしげな顔です。その一人ひとりに「こんなに寒いのによくその冷たい氷を持ってるなあ。」と声を掛けるのが寒い日の私の朝の日課です。子どもたちもこのやり取りが楽しいのか、寒い日にはシンボル像の台座の上には、氷の山ができていて、「何時間目まで溶けずにもつのかな。」と、その氷の山を見ながら通り過ぎる子どもたちもいます。その後、ランドセルを片付けると、運動場に飛び出して遊ぶ人、なわとびジャンピングボードに駆け付ける人、あいさつボランティアをする人、石活(石拾いボランティア)をする人など、みんな朝からそれぞれにしたいことがあって、寒さに負けない元気な姿を見ることができます。

現在香川県では、インフルエンザの流行が減ってくると同時に、新型コロナウイルスが増えてきているようです。今後とも栄養・睡眠・体力づくりでそれぞれに自身の免疫力アップに向けて取り組んでいきましょう。本年度もあと2か月、ラストスパートです。よろしくお祈りします。

★ 令和6年 能登半島地震災害義援金の受贈式がありました ★

1月30日のお昼休みに、古高松南小学校校長室で日本赤十字社香川県支部の方を招いて、能登半島地震で被災された方への義援金の受贈式が行われました。これは、6年生の中の「私たちにも何かできないだろうか。」といったつぶやきが、ハピチャレ運営委員会で話し合われ、全校生に呼びかけて「義援金」につながりました。他にも、私たちが毎年春に元気をもらっている「運動場に泳ぐこいのぼりを届けよう。」や、「千羽鶴を心を込めて折って贈ろう。」などもありましたが、「今すぐ力になれるのは必要なものを買うための義援金だろう。」ということになりました。集まった金額は約34万円もありました。自分のお小遣いやお年玉から出してくれた人もいました。また、「これはおうちから」と別に封筒を持たせてくださった家庭もたくさんあったようです。防災で「自助・共助・公助」について学んでいます。素晴らしい共助の心です。ご協力いただきたいへんありがとうございました。



【全校朝会での呼びかけ】



【義援金 受贈式】



☆南門前道路に真新しい白線が引かれる☆

高松市道路課が、本校南門前から佐藤内科前交差点までの道路の白線を引き直してくださいました。白線が見えないくらい剝がれていたからか、子どもたちの登下校中の歩く場所が道路中央寄りで危ないと感じていた箇所だったので、交通安全担当も頻りに指導をしていました。このことを察してくださったのか、くっきりと白線が引かれています。これからは、安全のために必ず白線の内側を歩くようにしてほしいです。

☆ 大盛況 ☆

なわとびジャンピングボード

冬休みに教員が作ったジャンピングボードを使って、子どもたちが朝の時間、業間休み、昼休みと時間があればなわとび練習に励んでいます。「あやとびができるようになった。」「二重跳びが〇回に増えた。」などと聞かせてくれるのがとても嬉しいです。寒さに負けずに続けていきましょう。